

マツモトこすめーる

Vol.113

ターンオーバーを正常に導く多糖エキス



EXO-T



わずか3時間で「トランスグルミターゼ」を誘導

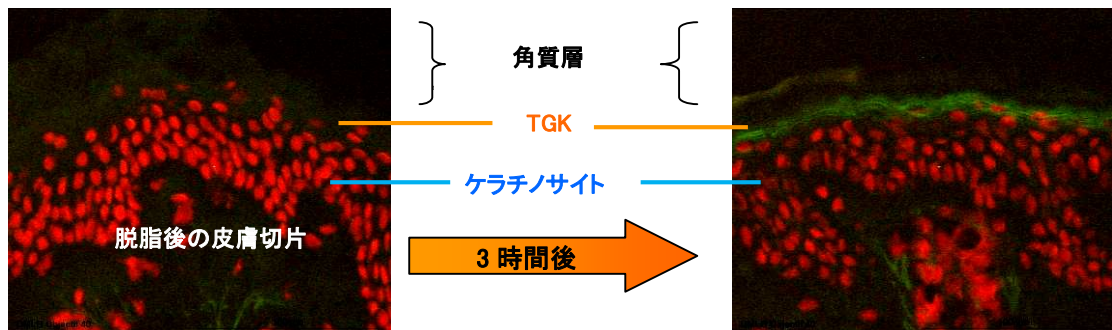
「皮膚のターンオーバー」に必要キーワード

- ・トリプシン / キモトリプシン (KLK5, KLK6, and KLK7) は角質細胞の剥離を行う上で欠かせないタンパク質分解酵素の一種です。
- ・インボルクリンやフィラグリンは分化マーカーとしてよく知られるたんぱく質です。
- ・トランスグルミターゼ (TGM) は細胞間脂質の足場となるコーニファイドセルエンベロープ (CE) において、CE 構造タンパク質の架橋の役割を担う酵素です。



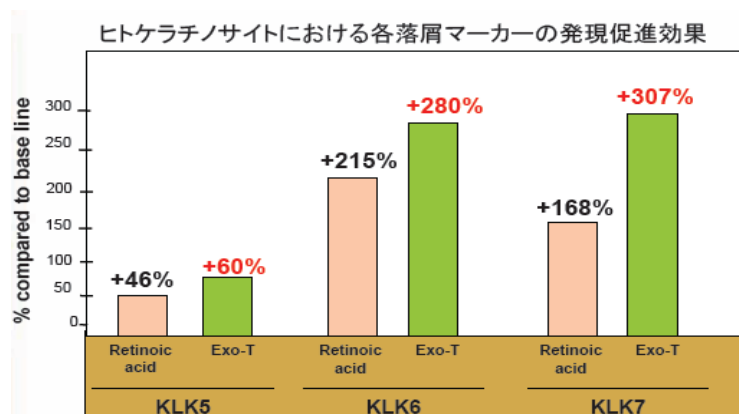
①Ex-vivo 試験

ヒトの皮膚切片をエタノールとアセトンの混合溶媒にて、細胞間脂質を脱脂した後、Exo-T を 3%配合したジェルを載せ培養しました。培養後、-80℃にて凍結させた皮膚切片を染色し、セラミドの架橋タンパクである CE (コーニファイドセルエンベロープ) 成分含有のトランスグルタミナーゼ (TGM) の発現を観察しました。



Exo-T は CE の架橋タンパクであるトランスグルタミナーゼをわずか 3 時間で誘導し、皮膚を成熟化する。

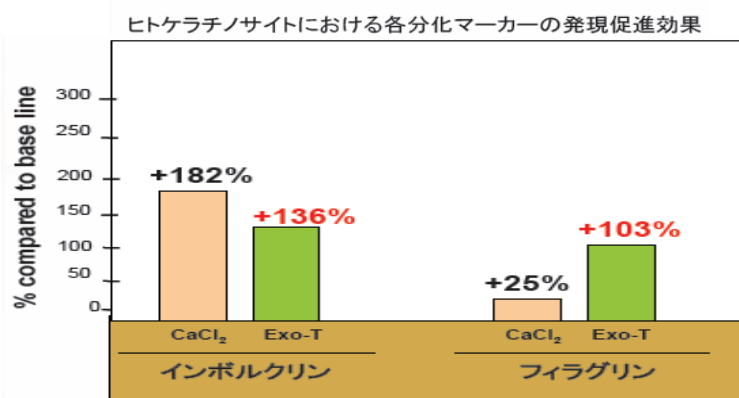
②In Vitro 試験(落屑マーカの発現促進)



Exo-Tはポジティブコントロールのレチノイン酸以上にカリキュレイン発現を亢進した

EXO-T は落屑マーカである、カリキュレインの働きを亢進する事により落屑を正常化し、角層を適切な状態に保つことが期待されます！

③In Vitro 試験(分化マーカの発現促進)



Exo-T はインボルクリン、フィラグリンをそれぞれ2倍以上に亢進した

EXO-T は分化マーカであるインボルクリン、フィラグリンの産生促進し、皮膚バリア機能や保湿機能を高める効果も期待出来ます！

【商品情報】

商品名: Exo-T(エグゾT)

表示名称: 水、BG、「ビブリオアルギノリチクス発酵液」又は「ビブリオアルギノリチクス培養液」

製造元: Unipex Innovations 社(カナダ)



株式会社 マツモト交商

東京本社: 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 4-4-20

TEL 03-3241-5161 / FAX 03-3241-5169

大阪支店: 〒530-0001 大阪市北区梅田 3-4-5(毎日新聞ビル 3F)

TEL 06-6342-1185 / FAX 06-6342-1199

E-mail: yakusho@matsumoto-trd.co.jp

<http://www.matsumoto-trd.co.jp/>